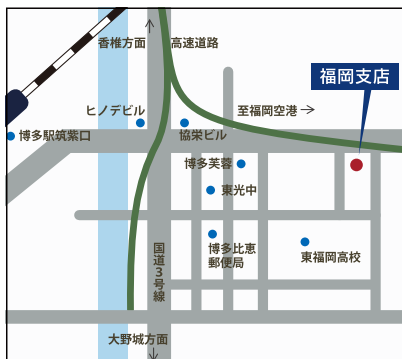




[本社]〒870-0017 大分市弁天二丁目7番1号
TEL.097-537-5385 FAX.097-534-2781



[中津支店]〒871-0004 中津市上如水1418番地
TEL.0979-32-6507 FAX.0979-32-8063



[福岡支店]〒812-0042 福岡市博多区豊一丁目1番47号
TEL.092-473-1919 FAX.092-473-1929

■ 事業内容

日立製品全般の販売及び計画から設計・施工及びメンテナンス、環境システム、情報通信システム、IoT、AI、ドローン事業、太陽光・小水力発電設備 等、エンジニアリングの提供

■ 取扱設備

受変電設備、上下水道設備、太陽光発電設備、空調設備、昇降機、照明、情報通信関連機器、監視カメラ設備、機械器具設備工事、太陽光パネル監視管理システム（ドローン）、小水力発電、予兆診断システム、防災行政無線、IoT 設備、AI システム 等

日立特約店

柳井電機工業株式会社

<http://www.yanaidenki.co.jp>



柳井電機 CSRレポート 2023

私たちのCSR



CSRレポート発刊にあたって

- FOR PUBLISHING CSR REPORT 2023 -

日頃より格別のご高配賜り誠にありがとうございます。

2023年5月8日、新型コロナウイルスの感染症法上の分類が、季節性インフルエンザなどと同じ『5類』に引き下げられました。これにより世の中は、有事の状態から抜け出し、以前の平時の生活に戻る事になりました。

この3年超におよぶ生活の変化が私たちにもたらした影響は、世の中を一変しましたが、終わったことではなく、これらの教訓を次につなげていくことが今後の課題であり、使命だと実感しています。

未だ感染症は続いており予断を許さない状況ではございますが、皆様におかれましてはますますのご健勝をお祈り申し上げます。

さて、弊社のCSRレポートも12回目の発刊を迎えることができました。これもひとえに皆様方のご厚情の賜物であり、改めまして感謝と御礼を申し上げます。

ここで紹介する我々の活動の中でSDGsがもたらす機会や課題を活かすため、優先課題の所在を明らかにし、取り組みの重点化を図っていきます。

これまで以上に社会的責任を果たしながら持続可能な企業活動を通じて、より良い事業、社会貢献に努めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

トップメッセージ

- TOP MESSAGE -

私たち『柳井電機工業株式会社』は、事業を通じて、社会の持続可能な発展に貢献するため、積極的に“企業の社会的責任 (Corporate Social Responsibility)”を果たしてまいります。

具体的には・・・

- ・はたらく従業員にとって良い「とりくみ」になるように。
- ・お客さまにとって良い「とりくみ」になるように。
- ・社会や地域の皆様にとって良い「とりくみ」になるように。
- ・地球環境にとって良い「とりくみ」になるように。

ステークホルダーの皆様の声を事業活動に組み込み、社会からの期待に応えられる企業を目指します。

柳井電機工業株式会社
代表取締役社長 柳井 智雄

- 委員会名称 -		- ページ番号 -	
事務局		2名	
環境	環境委員会	5名	P11-12
人権	ダイバーシティ推進委員会	5名	P13-14
コミュニティ	社会貢献委員会	5名	P15-16
消費者課題	事業品質委員会	5名	P17-18
労働慣行	働き方改革委員会	5名	P19-20
公正な事業	公正事業推進委員会	5名	P21-22

合計 32 名

企業理念

- CORPORATE PHILOSOPHY -

『こんな人でありたいよね』=『YANAI 力』として、6つの理想とする人物像を作り上げました。
【VISION】と【MISSION】を目標に『Yes,and!』の思考プロセスで課題解決に取り組みます。



VISION ワクワクとした仕事を通じて、みんなで幸福になる
MISSION 顧客の課題をトコトン見つけ、圧倒的に解決する

Yes,and! の思考プロセス

柳井電機の仕事への取り組み方の根底にある「Yes,and!」はこう作用します

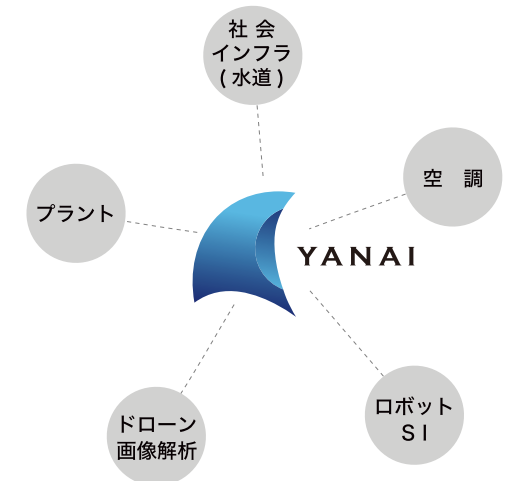


会社概要

- COMPANY OVERVIEW -

電気機械の困ったを解決する 柳井電機工業は、そんな技術集団です

生活に必要な不可欠なライフライン、工場の生産設備、環境にやさしいエネルギー。
それらを支えるのが柳井電機工業の仕事です。
私たちは 5本の柱（社会インフラ・プラント・空調・ロボットSI・ドローン画像解析）を軸に、様々な立場の皆さまが、『安心して過ごせる幸せ』を提供しています。
今日より明日、明日よりその先の未来へー
日々進化し続けるお客様のニーズに真摯にお応えしながら私たちは社会全体の幸せを追求し続けます。



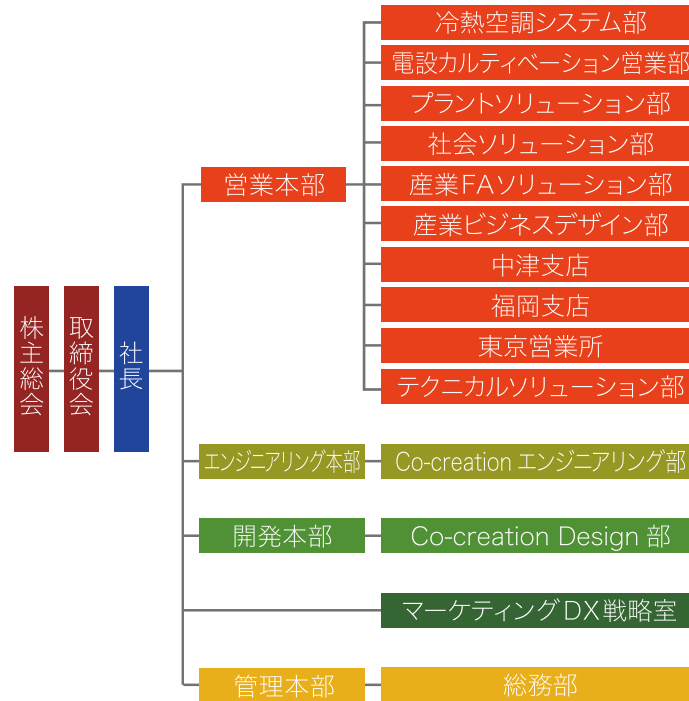
商号：柳井電機工業株式会社
YANAI ELECTRIC&MACHINERY CO.,LTD
役員：代表取締役社長 柳井智雄
創業：1947年9月9日
設立：1961年3月23日
年間売上：75億円（2023年9月期）
社員数：164名

所在地：<本社>大分市弁天二丁目7番1号 〒870-0017
TEL:(097) 537-5385
<中津支店>中津市大字上如水 1418番地 〒871-0004
TEL:(0979) 32-6507
<福岡支店>福岡市博多区豊一丁目1番47号 〒812-0042
TEL:(092) 473-1919
<東京営業所>千葉県柏市南柏一丁目2番8号
テラスビル4-B 〒277-0855
TEL:(080) 6459-8035
<横浜営業所>神奈川県横浜市西区みなとみらい4-4-2
横浜ブルーアベニュー 12F1254号室 〒220-0012
TEL:(045) 274-7891

組織図

- ORGANIZATION CHART -

■ 組織図



競争上の優位性を確立しつつデジタル化社会に適応した企業に変革し生産性を高めていくことを目的とし、マーケティング DX戦略室を2021年10月に設置しました。
働き方や社内の業務プロセス、ビジネスモデル、取引や顧客様との接点、意思決定や組織運営の方法などすべてがデジタルを前提として組み立てられている企業が私たちの目指す姿です。



CSR2023 トピックス

- TOPICS OF CSR2023 -



スリランカよりインターンシップを受け入れ

6月5日より3ヶ月間にわたりスリランカから2名のインターンシップ生に来ていただきました。JASA(一般社団法人組込みシステム技術協会)様の紹介により、当社の研究開発部門に配属し、社有車の鍵管理システムの開発を中心に取り組みながら9月に無事に成果発表会を終えて帰国されました。今後も多様な価値観を持った人材を受け入れ、ダイバーシティ経営にも取り組んで参ります。



『災害時における相互協力に関する合意書』への登録

9月19日付けにて、大分県 LSI クラスタ形成推進会議『災害時における相互協力に関する合意書』を締結しました。県内27社の半導体産業を中心とした関連企業が登録しており、BCPの観点から、会員相互の連携及び協力体制を明確にすることで、会員の顧客及び地域の継続的な発展に貢献してまいります。

企業版ふるさと納税

大分県内の各自治体が、地方創生のプロジェクトのために企業に対してふるさと納税の寄付を募集している制度です。自治体によって、様々な取り組みを計画しており、分野別に寄付を希望する事業を選択できるなどの特徴があります。今年は、県内9市に対して寄付を行いました。今後も地元企業として、CSRの一環となる活動を継続してまいります。

SDGs トピックス

- TOPICS OF SDGs -

「福岡県 SDGs 登録制度」に福岡支店が登録認証

福岡県が重点的に取り組むべき項目として、「公正・パートナーシップ・地域社会への貢献」「人権・平等・労働」「産業・技術」「環境・ワンヘルス」の4つの分類に対して、弊社の取り組みなどを紹介し、2023年2月に登録交付されることになりました。同年5月、福岡県ワンヘルス宣言事業者としても感染症対策に対し登録認証され、それぞれの課題に対して達成目標に取り組んでいます。



社有車に電気自動車「SAKURA」4台を導入

今年2月に電気自動車4台導入いたしました。それに合わせて本社1階の来客用駐車場にEV普通充電器4台も設置いたしました。昨年より本社では、水力や地熱を中心とした再生エネルギー100%の電力契約に変更し、CO2排出を抑え環境負荷低減に向けた取り組みを実施しています。



環境委員会

- ENVIRONMENTAL SAFEGUARDS -

関連する SDGs



環境マネジメントシステムであるエコアクション21を適正に運用し、企業活動によって生じる環境負荷の継続的な改善をはかり、地球環境の保全に努めていきます

環境に関する取り組み

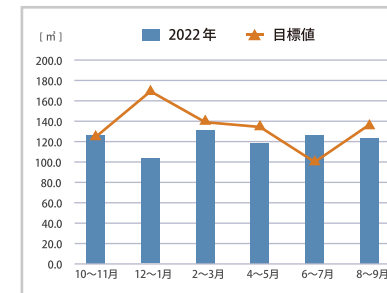


▲ 今期EV車を4台導入

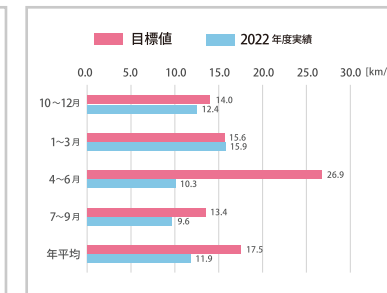


▲ 植林ボランティアに参加

エネルギー使用量の削減：水使用量、車両燃費、電力使用量



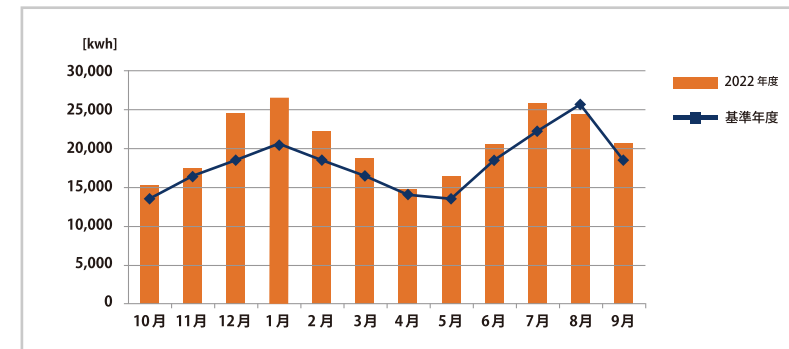
▲ 水使用量



▲ 車両燃費

水使用量：目標値と比較して使用量が増えた月がありましたが、通年では目標数値を下回ることが出来ました。引き続き使用量削減に努めます。

車両の燃費：目標値を達成することが出来ませんでした。引き続き燃費向上に向けてエコドライブを推進していきます。



▲ 電気使用量

電気使用量：2019年度実績値（基準値）217,234kWhに対して247,513kWhと超過してしまいましたが、前年度より約3%の削減を達成できました。来年度より太陽光発電が稼働予定になっていますので、引き続きCO2排出を抑え環境負荷削減に向けた取り組みを実施しています。

ダイバーシティ推進委員会

- DIVERSITY&INCLUSION PROMOTION -

関連する SDGs



私たちは性別や人種の違いに限らず、年齢、性格、学歴、価値観などの多様性を受け入れることで、一人一人の個性を輝かせます

社員一人ひとりが、お互いの個性や人権に対する理解を深め、自分らしい考えやアイデアを自由に発信できる環境を整え、新たなイノベーションを生み出す可能性が最大となる職場を目指します

■ 社内研修の開催



ダイバーシティ&インクルージョン推進のカギ
アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)に気づく

8月8日、8月15日に管理職向け研修を実施しました。カードを用いたワークショップでは、各々が持つ様々な視点で意見が飛び交い、[無意識の思い込み]について、深く考えることができました。研修後のアンケートでは「自分に欠けている部分や思い込み等々知る事が出来た。今後の部下との会話に活かしていきたい」など、前向きな意見を多くいただきました。今後は一般社員向けにも実施していく予定です。

■ パープルリボンプロジェクト2022 への参加



大分県女性に対する暴力をなくす運動
～話すことで、力をもらえる場所がある～

内閣府男女共同参画推進本部による、女性に対する暴力をなくす運動「アイネスパープルリボンプロジェクト 2022」に今年度も引き続き参加しました。対象期間である 11 月 12 日から 11 月 25 日迄の 2 週間、本社屋の玄関口をパープルにライトアップし啓発ポスターの掲示を行いました。当プロジェクトへは今後も引き続き参加し、女性への暴力・性犯罪の根絶を目指します。

■ その他、取組について



「委員会メンバーの外部研修」、「ダイバーシティ関連の社内研修の案内」、「女性活躍推進の経過報告」、「ダイバーシティ関連のコンテンツ配信」等、社内での様々な取り組みを通じて、ダイバーシティに関する意識向上を促進しました。これらの活動を通じて、社員全員がダイバーシティを身近に感じ、理解を深める機会をつくりました。

社会貢献委員会

- CORPORATE SOCIAL CONTRIBUTIONS -

関連する SDGs



私たちは職場体験学習の受入れなどで地域と密着し、清掃や献血などのボランティア活動をする事で、地域社会とより良い関係性を築くことを目指しています

献血やペットボトルのキャップ収集で医療の支援をしたい、子供たちに夢や目標を見つける手助けをしたい、得意なことを活かし地域の手伝いをしたい、などの優しい気持ちで活動しています

中学生職場体験



▲ ポンプ分解整備



▲ ロボット学習

大分市立碩田学園の8年生を招き職場体験

9月4日～5日に渡り、碩田学園の8年生を招き、次の内容で職場体験をしてもらいました。
 「ドローン操作体験」、「ロボット学習」、「ポンプ分解整備」、「空調機分解整備」
 学生たちはどの体験も興味を持って説明を聞き、質問も多く、実演も積極的に参加していました。先生からも感謝の言葉をいただきました。学生の夢や目標の手助けができていればと思います。

赤十字献血活動

2022年 11月8日実施 **26名**
 2023年 3月8日実施 **22名**
 2023年 6月28日実施 **25名**



▲ Co-creation Design部 岡部さん

年間3回の献血を目標に!!

当委員会では、全国の輸血用血液不足の為、献血活動を行っています。最近では、若者の献血離れが不安視されています。この活動を通じて献血の重要性が若い世代にも定着することを期待し、引き続き献血カーを派遣いただき継続していきます。

その他の活動



▲ 清掃活動



▲ 交通安全街頭活動



▲ ペットボトルキャップワクチン交換証明書

◆会社周辺の美化活動
 会社周辺のゴミ拾い、草取りを延べ58名にて実施しました。

◆安全街頭活動
 15回の活動を行い延べ52名にて実施しました。

◆募金・寄付活動・地域貢献活動
 2022年12月28日
 弁天地区の不要となった防犯灯（7灯）の撤去を行いました。
 約60kgのペットボトルキャップの寄付を行いました。

【歳末助け合い募金】63,317円

事業品質委員会

- BUSINESS QUALITY -

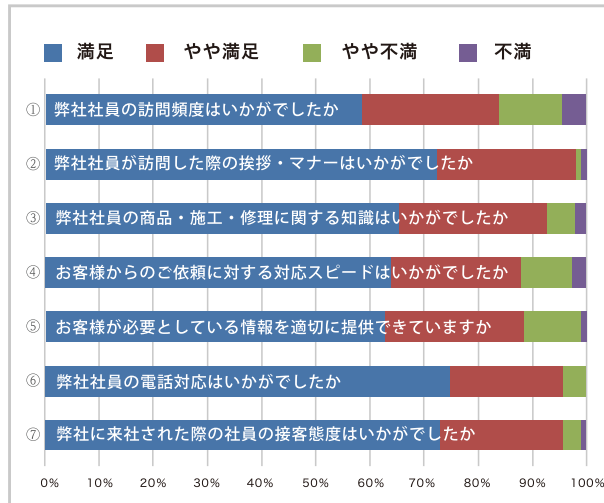
関連する SDGs



安全・安心・高品質な製品及びサービスを提供する為に、従業員の教育・訓練に努めるとともに、災害発生時にお客様の事業を早期に再開するための活動を行っております

コロナ禍をきっかけに活動に対面以外の選択肢も増えました
そういった選択肢をうまく取り入れながら社員の品質向上に取り組んでまいります

顧客満足度アンケート



▲ アンケート集計結果

お取引先の皆さまにアンケート回答いただきました
ご協力ありがとうございました

「満足・やや満足」の割合が最も低い項目は「訪問頻度」でした。6年連続で全項目中最も低い項目となっております。次に「満足・やや満足」の割合が低い項目は「対応スピード」「情報を適切に提供」で、昨年と同じ結果となりました。お客様とのコミュニケーションが不足していることを真摯に受け止め、改善に努めて参ります。その他項目の「満足・やや満足」の割合は、「接客態度」95%、「電話対応」95%、「知識」94%、「マナー」99% でした。100% にすべく教育を継続いたします。

【お客様の声】

言動が投げやりな方がいる / 電話対応が悪い方がいる / 訪問がないので担当者が分からない / 要求する以上のことを対応していただきスピードも速いので助かる / 商品知識があるので頼りになる / 施工現場に立ち会ってくれ施工方法等の相談に乗ってくれるので助かる

事業継続計画



▲ 防災備蓄品

▲ シェイクアウト訓練

災害等の発生時に早期の事業再開をするための活動

災害時の唯一の楽しみとして食事を充実させるため、先期に引き続き備蓄品の食品に新たな品目を追加しました。今期新たに購入したのは「豚汁」「牛丼」「ようかん」です。
今後も非常事態に少しでも幸福感を味わえるようなランナップにしていくよう継続して備蓄品購入を行います。
大分市シェイクアウト訓練に全社で参加いたしました。その他、災害等の発生時を想定し13回防災情報配信いたしました。

品質向上活動



▲ 国家資格取得者一覧 (2022年10月～2023年9月)

YANAI 品質の提供を目的とした従業員の教育・訓練

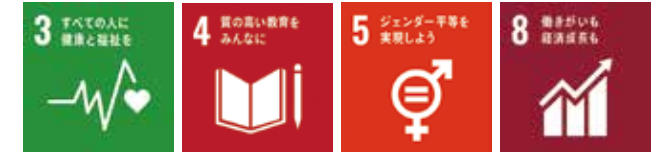
今期も多くの社員が資格を取得いたしました。第二種電気工事士試験は、今期も資格を持った社員が講師となり勉強会を行いました。

コロナ禍をきっかけに動画形式に変更したマナー講習会ですが、今期も引き続き動画形式で行いました。終了後に動画形式or対面形式どちらが良いか社員アンケートを行った結果9割が動画形式を希望しました。来期以降も柔軟に対応しながら社員の品質向上に向けて取り組みます。

働き方改革委員会

- WORK-STYLE REFORM -

関連する SDGs



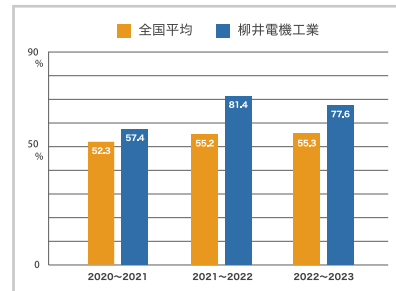
全社員がいつも思いやりと感謝の気持ちを持って、笑顔で仕事ができる職場環境を創ります 「ワークライフバランス」の観点から、仕事とプライベートの両立を目指します

働きやすい環境を創っていくと同時に、仕事に偏っていたものを改めプライベートの充実という面でも支援を行っていきます

■ 休暇取得制度



▲ 育児出張中
子供に離乳食を
食べさせている
社員 S さん



▲ 有給休暇取得率
全国平均の約 1.4 倍の取得率

社員の休暇取得促進

育児出張：当社では育児休暇を「育児出張」と名付け、2 週間の有給休暇を取得でき、育児休業とは違って少し煩わしい手続きをすることなく申請を行うことができます。出張という仕事感のあるネーミングと周囲の協力も相まって、取得しやすい環境になっており、昨年と合わせて 5 名の男性社員が「育児出張」をしています。出張した本人達は、揃って「妻に感謝！」と育児の大変さと母親の偉大さを実感しています。子供だけではなくパートナーとの良好な関係構築のきっかけにもなっています。

休暇取得促進：当社休暇制度『無人島休暇』と前述の『育児出張』の取得促進により、昨年度よりは減ってしまいましたが、有給休暇取得率が同規模企業（従業員 100 人～ 299 人）の全国平均 55.3% を大幅に上回る 77.6% となりました。
※厚生労働省調査 令和 4 年就労条件総合調査の概況より

引き続き休暇取得促進に取り組み、働きやすい職場を目指してまいります。

■ ありがとうの木活動



日頃の感謝の気持ちを伝えあう取り組み

全社員が感謝の気持ちを伝えあうために、社内 SNS で「ありがとうの木」という活動を開始しました。普段なかなか伝えにくい何気ない感謝の言葉を SNS を通して気兼ねなく伝えることが出来る取り組みです。

今期 2022 年 10 月～ 2023 年 9 月までに 163 個のありがとうを頂きました。

今後も社内全体に感謝の言葉が飛び交う取り組みを行ってまいります。

■ ノー残業デーの促進



▲ ノー残業デーにより定時退社中



▲ 定時退社後の過ごし方

社内 SNS による定期配信

毎週水曜日をノー残業デーと決め、定期的な社内 SNS 配信により社員へ定時退社を促しました。定時退社後のオススメな過ごし方も一緒に配信することで、過ごし方に具体的なイメージを持ってもらい、定時後が楽しみになってもらうことにも意識して、「ワークライフバランス」の推進に取り組みました。

公正事業推進委員会

- FAIR BUSINESS PRACTICES -

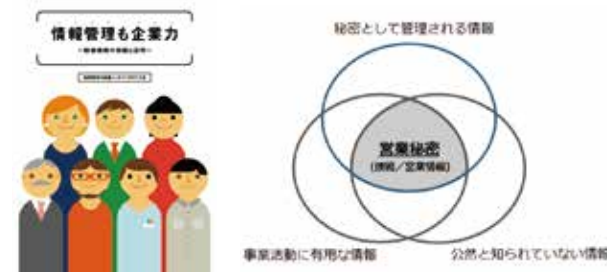
関連する SDGs



当社は高い倫理観と確かな知識を持ち、法令遵守を最優先に企業活動を行い、信頼される会社となる事を目標としています

私たちは法令や習慣、社会ルールに則った企業活動を行います
社員の意識・知識向上の為に以下の活動を中心に企業倫理の徹底に取り組んでいきます

■ 営業秘密、企業情報の管理とその守り方



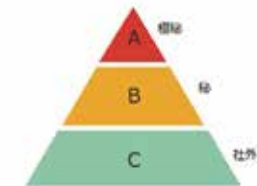
▲ 情報管理も企業力

▲ 営業秘密とは

営業秘密、企業情報とは

2023年度も INPIT (知財総合窓口) 様よりご協力いただき企業情報の守り方、営業秘密とは何を指すのかを勉強してきました。企業内には様々な情報がありますが情報漏洩は些細なところから大きな事態を招いてしまいます。情報漏洩が起きないようにするために社内の情報管理の意識を常に保てるよう活動してきました。今後も社内の情報を「情報資産管理台帳」の作成、運用を通して区分や管理の仕方について見直しを行い、適切な情報管理が行えるように情報を整理していきます。

■ 情報資産台帳の作成



▲ 情報管理区分



▲ 情報資産台帳データ整備

情報資産の台帳を作成し、情報の作成・閲覧などの制限から区分を決めていきました。2023年度は特に情報の取扱が難しい Co-CreationDesign 部の台帳をまとめました。情報の区分をはっきりさせ、データの重要性を改めて認識することで情報漏洩リスクは軽減されていきます。

■ 情報管理を行うための規則見直し



INPIT (知財総合窓口) 様より助言いただきながら就業規則の情報管理に関する内容を見直しを行いました。今後も適宜見直し、会社全体で情報漏洩が起こることの無いよう活動します。